

目的とねらい

人類はいまだに「戦争」を続けている。しかし戦争を起こさない努力、そうさせないための仕組み、それでも起きたら止めさせる試み、戦争犯罪を拒み人道的な扱いを求める声など、その知恵も積み重ねられてきた。主に日本が関わってきた戦争を中心に、この100年間、戦争をどのように終わらせてきたのか、人類の知を訪ねてみます。

会場

河原町学舎

定員

50名

テキスト

「戦争」の終わらせ方
原田 敬一著（新日本出版社）1,400円
（第一回講座で販売します）

受講料

10,000円

講師

原田 敬一（佛教大学名誉教授）

日程

全8回 第4金曜日
13:30～15:30



（日程等は一部変更になる場合があります）

①	第一次世界大戦 この戦争は、すぐに終わると、皇帝、国王、首相は予想したが、軍事同盟の発効で大戦となり、植民地も動員した世界戦争になった。世界は、戦争の目的と新しい終わらせ方を求めた。	4/28（金）
②	日中戦争 世界大戦という大惨事によって、世界は、戦争違法化の道を模索し、まとめていった。阻んだのは、日本、続いてイタリアだった。日本は、『暴支膺懲』を訴えて日中戦争を進めた。	5/26（金）
③	第二次世界大戦 戦争によって勢力圏を拡大する日本やイタリアと異なり、総統ヒトラーは軍事的威圧で東に「生存圏」を拡大し、国民の支持を集めた。ナチスドイツがポーランド侵入して英仏との対立を深め、第二次欧州戦争が始まる。日本が英米に宣戦した1941年12月に、アメリカも加わる第二次世界大戦となった。世界は再び新しい戦争の終わらせ方の模索に努めなければならなかった。	6/23（金）
④	日ソ戦争 1945年8月8日、ヤルタ協定とポツダム宣言を根拠としてソ連が日本に宣戦し、日ソ戦争が9月5日まで続いた。降伏した軍人だけでなく民間人もソ連領内各地に労働部隊として抑留され、その解決と全般的講和が日ソの課題となった。	7/28（金）
⑤	朝鮮戦争 朝鮮の自立に関心のなかった米ソは、朝鮮半島を二分して軍事占領し、勢力範囲とした。二分された両国とも、統一を強く求めたが、先に侵攻したのは北の共和国だった。米中も巻き込んだ大戦争は3年続いたが、講和は70年経っても実現していない。	9/22（金）
⑥	ベトナム戦争 第二次世界大戦は植民地人民に独立の希望を与え、英仏蘭など帝国主義本国は、支配の継続を夢見た。ホーチミンがフランス軍を破って、フランスは独立を承認したが南ベトナムを根拠に対抗したのがアメリカだった。宣戦布告もせず北爆を続けたアメリカは孤立し、ベトナムから逃げるように去った。	10/27（金）
⑦	冷戦 第二次世界大戦後、人類は三度の世界戦争も核兵器の使用も拒むようになった。大戦後のヨーロッパ再建で米ソは対立し、戦争には至らない体制間競争という冷戦に入った。米ソの戦争の危機は何度も回避されたが、アジアや中東では戦争が繰り返された。冷戦はどのように終わり、その後の世界はどのように作り直されたのか、されなかったのか。	11/24（金）
⑧	ウクライナ戦争 平和を創造するための国連憲章も、戦争違法化の世界の努力も半ば無視するかのようになり、第二次世界大戦後も米ソ→ロシア英仏が関わる戦争が続いた。その一つがロシア侵攻によるウクライナ戦争だ。いったいどのような戦争の終わらせ方が待っているのか。	12/22（金）